


作成日 2015年 5月 7日
改定日 2019年 4月 1日(第6版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|--------------|---|
| 化学品（製品）の名称 | モーレスキュー |
| 供給者の会社名 | 株式会社メニコン |
| 所在地 | 愛知県名古屋市西区市場木町390 |
| 担当部署 | 環境バイオ部 |
| 連絡先電話番号 | 052-325-7384 |
| FAX番号 | 052-325-7386 |
| 緊急連絡電話番号 | 052-325-7384 |
| 販売会社名 | 共立製薬株式会社 |
| 連絡先電話番号 | 03-3264-7559 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 家畜ふんのたい肥化を促進・消臭する目的で、たい肥化施設の家畜ふんに散布。 食品や飼料への添加を禁止。 |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|--------------|--|--------------------------|
| GHS分類 | | |
| 物理化学的危険性 | 可燃性固体 自然発火性固体 水反応可燃性化学品 酸化性固体 | 区分外 区分外 区分外 区分外 |
| 健康有害性 | 発がん性 | 区分1A |
| ラベル要素 絵表示 |  | |
| 注意喚起語 | 危険 | |
| 危険有害性情報 | 発がんのおそれ | |
| 注意書き | | |
| 安全対策 | 使用前に、本製品に記載された説明を読むこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、呼吸用保護具（防じんマスクなど）を着用すること。 粉じんの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 | |
| 応急措置 | 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。 | |
| 保管 | 施錠して保管すること。 | |
| 廃棄 | 内容物、包装を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 | |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物

混合物

| 化学物質名 | 官報公示整理番号 | | CAS No. | 濃度又は濃度範囲 |
|---------------------|--------------|-----|------------|----------|
| | 化審法 | 安衛法 | | |
| ゼオライト | 対象外 (天然物) | 既存 | 1318-02-1 | 50～60% |
| パーライト(*) | 対象外 (天然物) | 既存 | 93763-70-3 | 30～40% |
| 糖類 | 非開示 | 既存 | 非開示 | 非開示 |
| 微生物 (TAB7 株) 培養液 | 対象外 (天然物) | - | - | 非開示 |

*石英 (CAS:14808-60-7) がパーライトの濃度に対して<1%、製品中に対して<0.4% 含まれる可能性がある。

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂類。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状注水 |
| 特有の危険有害性 | 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 初期消火には、泡消火剤や粉末消火剤等を使用する。 危険でなければ火災区域から本製品を移動する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。 空気式呼吸器 (SCBA) を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具 (8. ばく露防止及び保護措置の項を参照) を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 |
| 環境に対する注意事項 | 河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|--------------|---|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 |
| 安全取扱注意事項 | 使用前に、本製品に記載された説明を読むこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 |
| 接触回避 衛生対策 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 保管場所には化学品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 涼しい所や換気の良い場所で保管すること。 日光の直射や過度の湿気を避けること。 屋内貯蔵を原則とする。 倒壊や落下を防ぐため、本製品の過度な積み重ねは避けること。 施錠して保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。(ポリエチレン重袋等) |

8. ばく露防止及び保護措置

| 許容濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-----------------------------------|------------------------|---------------|--|--------------------|-----------------|-------|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|------------------|-----|-----|-----|------------------------|-----|-----------------------------------|------------------------|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">化学物質名</th> <th rowspan="2">管理濃度</th> <th colspan="2">許容濃度 (ばく露限界値)</th> </tr> <tr> <th>日本産業衛生学会 2015年版</th> <th>ACGIH 2015年版</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゼオライト</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> </tr> <tr> <td>パーライト (*)</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> </tr> <tr> <td>糖類</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> </tr> <tr> <td>微生物 (TAB7 株) 培養液</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> </tr> <tr> <td>*石英 (パーライトが含む可能性があるもの)</td> <td>未設定</td> <td>吸入性結晶シリカ 0.03mg/m³</td> <td>0.025mg/m³</td> </tr> </tbody> </table> | 化学物質名 | 管理濃度 | 許容濃度 (ばく露限界値) | | 日本産業衛生学会 2015年版 | ACGIH 2015年版 | ゼオライト | 未設定 | 未設定 | 未設定 | パーライト (*) | 未設定 | 未設定 | 未設定 | 糖類 | 未設定 | 未設定 | 未設定 | 微生物 (TAB7 株) 培養液 | 未設定 | 未設定 | 未設定 | *石英 (パーライトが含む可能性があるもの) | 未設定 | 吸入性結晶シリカ 0.03mg/m ³ | 0.025mg/m ³ |
| 化学物質名 | 管理濃度 | | | 許容濃度 (ばく露限界値) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 日本産業衛生学会 2015年版 | ACGIH 2015年版 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゼオライト | 未設定 | 未設定 | 未設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| パーライト (*) | 未設定 | 未設定 | 未設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 糖類 | 未設定 | 未設定 | 未設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 微生物 (TAB7 株) 培養液 | 未設定 | 未設定 | 未設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| *石英 (パーライトが含む可能性があるもの) | 未設定 | 吸入性結晶シリカ 0.03mg/m ³ | 0.025mg/m ³ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備対策 | 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 高熱取扱いで、工程で粉じんが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 呼吸用保護具 | 適切な呼吸用保護具を着用すること。(型式検定合格品の防じんマスクなど) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手の保護具 | 必要に応じて保護手袋を着用すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼の保護具 | 適切な保護眼鏡を着用すること。(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて適切な保護衣を着用すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------|----------|
| 外観 (物理的状態、形状、色) | 固体、粉末、白色 |
| 臭い | ほぼ無臭 |
| 臭いの閾値 | データなし |
| pH | データなし |
| 融点・凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 蒸発速度 | データなし |
| 燃焼性 (固体、気体) | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限、下限 | データなし |

| | |
|----------------|-------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度(空気=1) | データなし |
| 比重(相対密度) | データなし |
| 溶解度 | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度(粘性率) | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------|
| 反応性 | 酸化剤と反応する。 |
| 化学的安定性 | 通常の保管および取扱いの条件においては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 高温、湿気、直射日光。 |
| 混触危険物質 | 強酸、強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、金属酸化物を発生する。 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|--|
| 急性毒性 | |
| 経口 | データ不足のため分類できない。 |
| 経皮 | データがなく分類できない。 |
| 吸入(蒸気) | データがなく分類できない。 |
| 吸入(粉じん) | データがなく分類できない。 |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | データがなく分類できない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性 | データがなく分類できない。 |
| 呼吸器感受性 | データがなく分類できない。 |
| 皮膚感受性 | データがなく分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | データがなく分類できない。 |
| 発がん性 | パーライトに含有される石英が区分1Aで濃度限界(0.1%)以上のため、GHS:区分1A「発がんのおそれ」に該当する。 |
| 生殖毒性 | データがなく分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データがなく分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データがなく分類できない。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | データがなく分類できない。 |

12. 環境影響情報

| | |
|--------------|--|
| 水生環境有害性(急性) | データがなく分類できない。 |
| 水生環境有害性(長期間) | データがなく分類できない。 |
| オゾン層への有害性 | モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 |
| 汚染容器及び包装 | 包装は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空包装を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|-------------|--|
| 国際規制 | |
| 海上規制情報 | 非危険物 |
| 航空規制情報 | 非危険物 |
| 国内規制 | |
| 陸上規制情報 | 非該当 |
| 海上規制情報 | 非危険物 |
| 航空規制情報 | 非危険物 |
| 特別の安全対策 | 輸送の前に包装の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、包装の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | なし |

15. 適用法令

| | |
|---------|---|
| 労働安全衛生法 | 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）（結晶質シリカ） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）（結晶質シリカ） |
|---------|---|

16. その他の情報

| | |
|------|---|
| 連絡先 | 株式会社メニコン |
| 参考文献 | NITE GHS分類公表データ RTECS ECHA Registered substances Database |

注意

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。